研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	泌尿生殖器学特論Ⅰ・Ⅲ	小村 和正

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

泌尿生殖器腫瘍学研究の目的は、前立腺癌、膀胱癌、腎癌、上部尿路上皮癌などの泌尿器癌の発生機序を解明し、新たな診断・治療法を開発することである。特に、分子生物学的手法を用いたバイオマーカーの探索や、免疫療法・分子標的治療の最適化に焦点を当て、個別化医療の実現を目指す。また、基礎研究と臨床研究を融合させ、最新の知見を患者治療へ応用することで、泌尿生殖器腫瘍の克服に貢献することを目的とする。

授業到達目標

（1）尿路生殖器腫瘍学における最新の研究に対する理解を深め，研究仮説を立てることができる。
（2）研究仮説に関連した論文を理解して，研究の計画および遂行に役立てることができる。
（3）紹介する論文の内容を簡潔にまとめ，的確なプレゼンテーションを行うことができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	金	17:00-18:00	杉山 星哲	講義	[抄読会]	尿路生殖器病態学の英文論文を紹介し，それに対する考察・討議を展開する。 [場所:[場所:10 階西カンファレンス室]]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について添削して返却する。
必要に応じて直接指導し，再度提出を求める。

教科書

ISBN-ISSN-1257-3792, The Journal of Urology, Joseph A,. Smith（Editor）, The American Urological Association ,

参考書

ISBN-ISBN-9784260043533, 標準泌尿器科学, 市川智彦, 久米春喜, 医学書院, 2021

準備学習（予習・復習等）

（1）紹介する文献及び論文を次回講義までに読んでおく。
（2）事前に教科書や参考書で約１時間程度予習しておく。
（3）紹介した論文の要約を作成する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

代表的な英文論文を読み，自らの研究に役立てる習慣を身につけて下さい。